

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

| | |
|--------|------------------|
| 団体名 | NPO 法人いわきの森に親しむ会 |
| 活動タイトル | 里山再生事業 |
| 活動地域 | 福島県 |



集合写真（6/3：パルシステム自然体験活動）

【活動の目的・目標】

毎月実施している観察会で、再生整備した薪炭林を継続的に観察し、その変化を実感してもらう。

先人達が行ってきた薪炭林づくり、薪づくり、炭焼き、薪ストーブの体験等を通して、現在の地球温暖化防止について考えてもらうきっかけとしたい。



自然観察会（6/16：労金連合会新人研修）

【今回の活動で苦労した/工夫したこと】

薪炭林を整備するため数年前からクヌギの植樹を行ってきたが、それまであった高木を切ったため地表が明るくなり一気に雑草が茂ようになり、草刈り回数が増え会員の負担が大きくなった。

また、今年は猛暑が続いたことも作業に困難が生じた。



参加親子集合写真（6/24：ジャガイモ掘り体験）

【活動の内容・成果】

開催回数：28回

参加人数：131人

達成率：80%

森林整備班は、毎週水曜日と第1、第3土曜日に作業を実施している。整備班の会員は9名いるが、毎回活動できるのは6～7名です。

主な作業は草刈りですが、作業範囲が年々増えるため、新たな会員の加入を図る必要がある。

【団体概要】

当会は、昔どこにでもあった里山を市民の手でつくることを目的に設立しました。

回の活動では、広く市民が参加しての自然観察会、木工クラフト、農業体験等自然体験活動を通じ、自然の大切さや食育等、特に子どもや親子が参加する行事に重点をおいています。

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



森林整備の仕方について指導者からアドバイスを受ける。(5/10)



子ども達が除伐体験をしているところ。
(8/19)



植樹場所の除伐木をバックホーで処理。
(7/7)



除伐する木に目印のテープを巻く。(9/27)